

富山県感染症発生動向速報

(2026年第18週分・4月27日～5月3日)

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎の報告数が多い状況です。

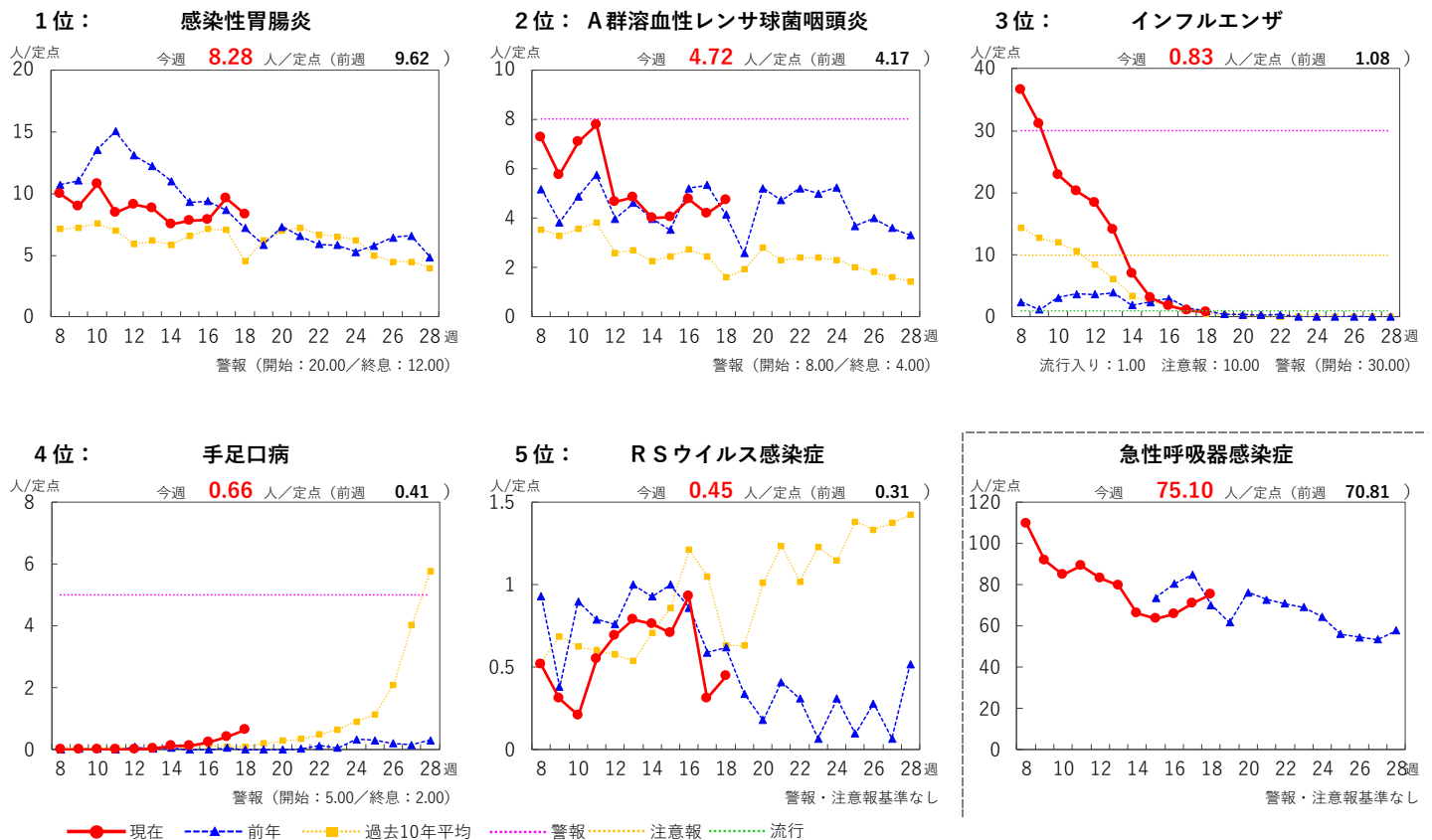
感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、ウイルスや細菌などの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(第14週インフォメーション参照)

○インフルエンザは先週から更に減少し、流行期入りの目安を下回りました。

インフルエンザの報告数は今週 0.83 人/定点となり、流行期入りの目安である 1.0 人/定点を下回りました。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症 (第18週・4/27～5/3)

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1件 (90歳以上、女性)

五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (50歳代、女性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (60歳代、男性)



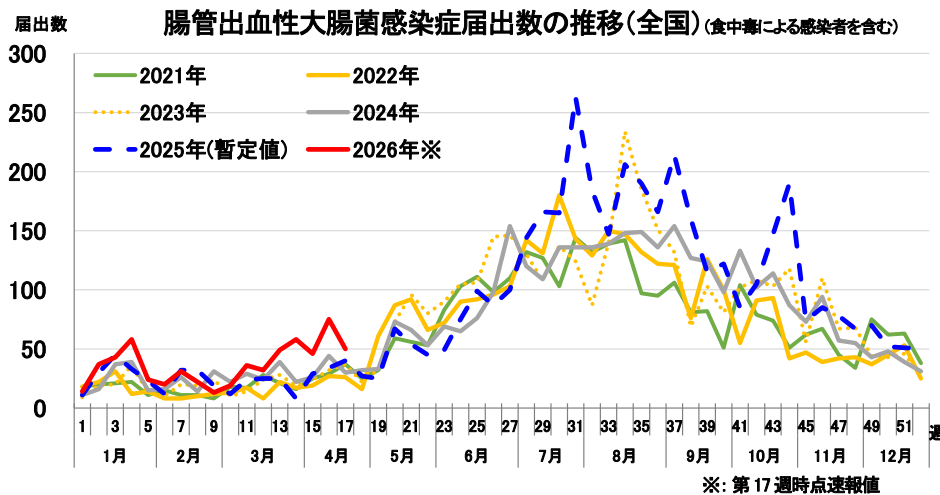


これからの季節は特に注意！ 腸管出血性大腸菌感染症

《 インフォメーション 》

● 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症は、ベロ毒素（VT）を産生、またはVT遺伝子を保有するEHECを原因とする感染症です。全国では無症状病原体保有者を含むEHEC感染例が例年3,000～3,900件報告されており、夏季に流行のピークがみられます（図）。富山県では2026年は5月8日現在、1件のEHEC感染例が報告されています。この事例は県外で発生したEHEC 026食中毒関連の事例であり、原因食品は加熱不十分な牛肉でした。



EHECは牛などの反芻（はんすう）動物に保菌されていることが多く、これらの動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。汚染された食品を加熱不十分な状態や生のまま喫食すると、3～5日後に腹痛、水様性の下痢や血便、さらに一部の患者では嘔吐や発熱などの症状も呈します。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症など重篤な合併症を併発し、死亡する事例もあります。免疫力が弱く重症化しやすい小児や妊婦、高齢者については特に注意が必要です。原因施設としては、飲食店だけでなく一般家庭でも数多く報告されています。

感染予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。気温・湿度が上昇し細菌が増殖しやすい環境となるこれからの時期は、下記のことには気を付け感染予防に努めましょう。

- ① 調理の際（調理前後、肉等を取り扱った後など）、食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱（中心部の温度が75℃で1分以上）してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第18週 2026年4月27日～2026年5月3日）

分類	疾患	今週報告分（第18週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	1	1		8	2	20	31	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	1	3	2	12	18	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										1	1	
	四類感染症	E型肝炎								1			1	
		レジオネラ症							1	1	2	1	3	8
	五類感染症	急性脳炎							1				1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	1	4	6	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1		2		2	4	
		侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	2	4	2	4	12	
		水痘（入院例）							1			1	2	
多剤耐性緑膿菌感染症												1	1	
梅毒								2	2	4		8	16	
破傷風												1	1	
百日咳								1				7	8	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）		急性呼吸器感染症（※1）	217	248	1,230	306	1,604	3,605	6,285	5,777	20,533	5,922	26,155	64,672
		31.00	49.60	94.62	43.71	100.25	75.10							
	インフルエンザ	4	5	9	6	16	40	1,437	1,203	3,342	1,428	4,638	12,048	
		0.57	1.00	0.69	0.86	1.00	0.83							
COVID-19		1	3	4	1	10	19	267	139	251	133	480	1,270	
		0.14	0.60	0.31	0.14	0.63	0.40							
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症		2		8		3	13	25	9	92	22	87	235
			0.50		1.00		0.30	0.45						
	咽頭結膜熱			4	5		1	10	26	14	122		52	214
				1.33	0.63		0.10	0.34						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	61	10	59	137	96	139	1,101	179	1,010	2,525
			0.50	1.67	7.63	2.50	5.90	4.72						
	感染性胃腸炎		18	12	24	12	174	240	481	380	872	217	2,436	4,386
			4.50	4.00	3.00	3.00	17.40	8.28						
	水痘			5	4	2	2	13	3	15	29	9	76	132
				1.67	0.50	0.50	0.20	0.45						
	手足口病				15	2	2	19		14	28	4	3	49
					1.88	0.50	0.20	0.66						
	伝染性紅斑		1		2			3	8	3	17	4	10	42
			0.25		0.25			0.10						
	突発性発しん				4	1	5	10	5	12	46	12	44	119
					0.50	0.25	0.50	0.34						
ヘルパンギーナ				2			2	13		2		3	18	
				0.25			0.07							
流行性耳下腺炎				1			1	2		1		5	8	
				0.13			0.03							
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎		1	1			2	8	2	1			11	
			1.00	1.00			0.29							
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1	
	マイコプラズマ肺炎					1	1	8		2	2	4	16	
						1.00	0.20							
	クラミジア肺炎										2		2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	41	49	40	100	285	
		COVID-19による入院患者	1			1	1	3	17	14	7	11	56	105

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

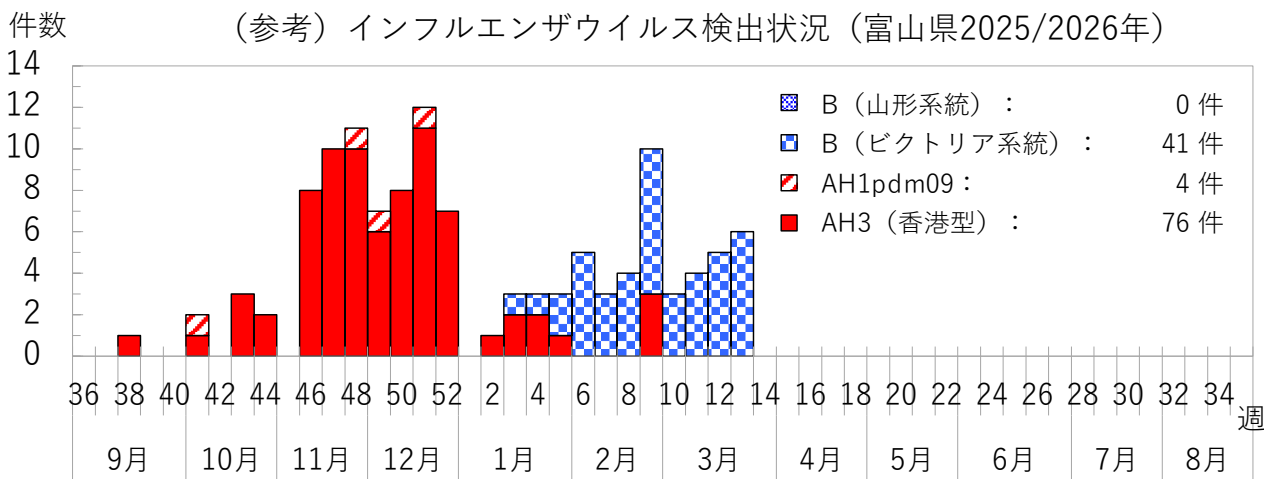
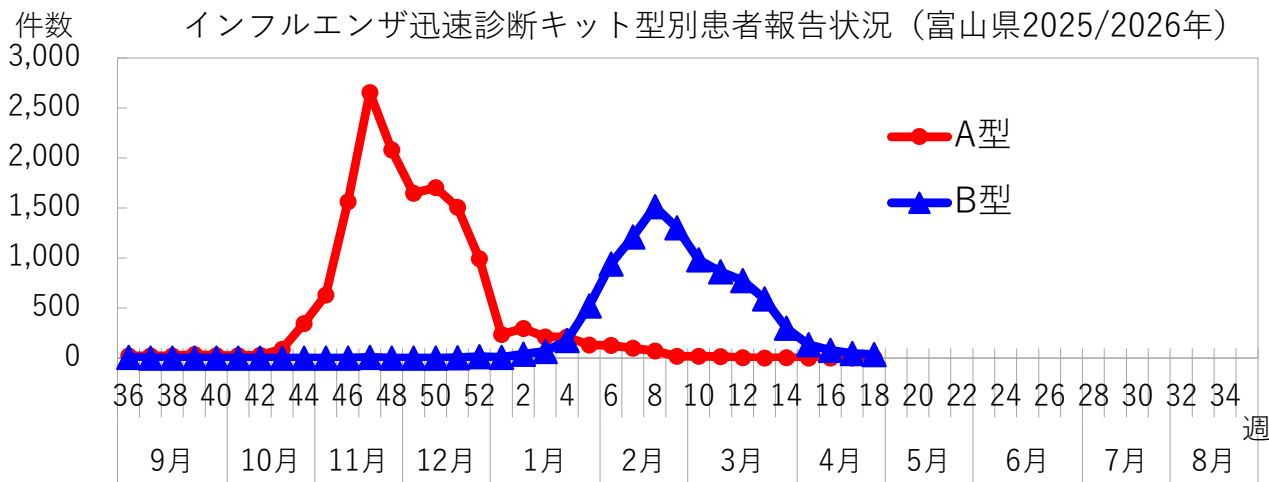
現在、下の表によると、B型が87.5%となっています。

第18週（4/27～5/3）：富山県 0.83人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	0	4	0	4
中部	4 / 5	0	5	0	5
高岡	5 / 13	1	8	0	9
砺波	1 / 7	0	6	0	6
富山市	7 / 16	0	12	4	16
富山県	20 / 48 ^{※1}	1	35	4	40
富山県累計（2025年36週～）		14,855	9,637	2,172	26,664

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が20か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



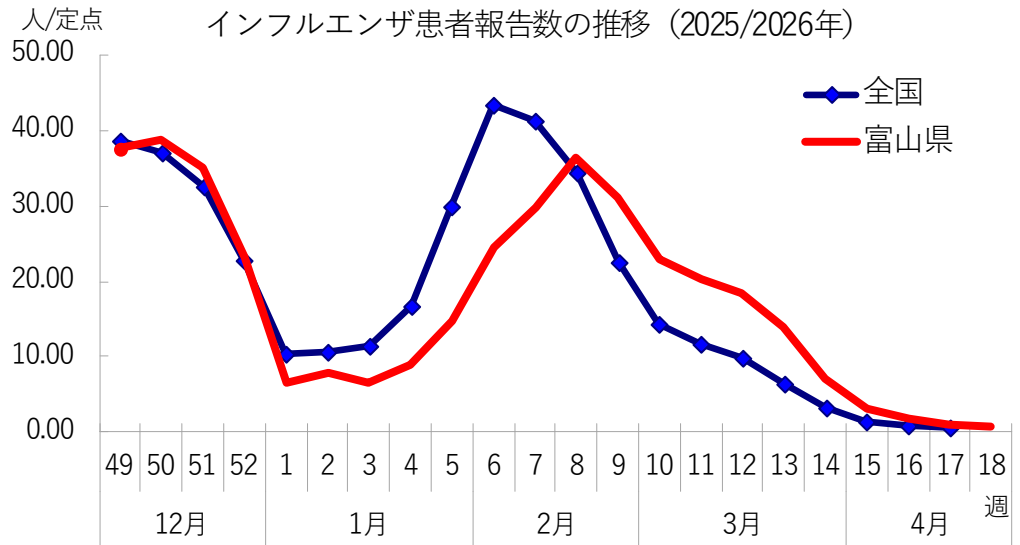
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第18週（4/27～5/3）

富山県 0.83人/定点 [新川（0.57）、中部（1.00）、高岡（0.69）、砺波（0.86）、富山市（1.00）]

今週の県内の患者報告数は、0.83人/定点となり、流行期入りの目安1.00人/定点を下回りました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

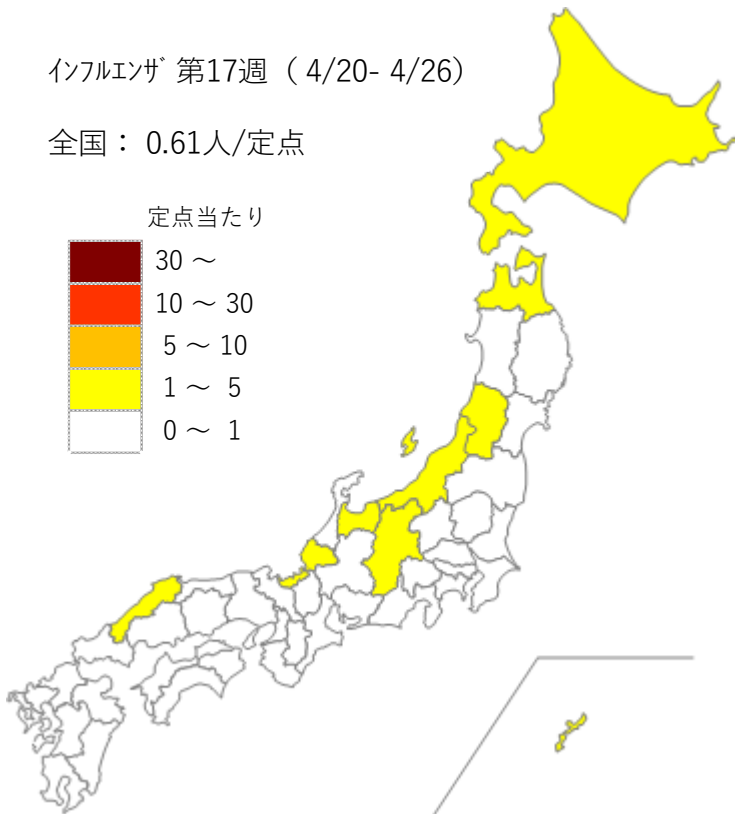
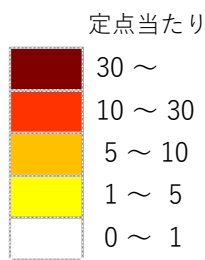


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第17週（4/20～4/26）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり0.61人となり、前週の0.92人より減少しました。1県で前週より増加しています。46都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第17週（4/20- 4/26）

全国：0.61人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.00 ↓	滋賀県	0.28 ↓
青森県	1.02 ↓	京都府	0.78 ↓
岩手県	0.81 ↓	大阪府	0.30 ↓
宮城県	0.64 ↓	兵庫県	0.59 ↓
秋田県	0.84 ↓	奈良県	0.33 ↓
山形県	3.95 ↓	和歌山県	0.20 ↓
福島県	0.83 ↓	鳥取県	0.59 ↓
茨城県	0.43 ↓	島根県	1.10 ↓
栃木県	0.28 ↓	岡山県	0.80 ↓
群馬県	0.38 ↓	広島県	0.56 ↓
埼玉県	0.33 ↓	山口県	0.62 ↓
千葉県	0.44 ↓	徳島県	0.45 ↓
東京都	0.30 ↓	香川県	0.35 ↓
神奈川県	0.37 ↓	愛媛県	0.95 ↓
新潟県	1.07 ↓	高知県	0.03 ↓
富山県	1.08 ↓	福岡県	0.39 ↓
石川県	0.94 ↓	佐賀県	0.58 ↓
福井県	1.05 ↓	長崎県	0.41 ↓
山梨県	0.09 ↓	熊本県	0.37 ↓
長野県	1.32 ↓	大分県	0.14 ↓
岐阜県	0.62 ↓	宮崎県	0.32 ↓
静岡県	0.23 ↓	鹿児島県	0.21 ↓
愛知県	0.48 ↓	沖縄県	3.91 ↑
三重県	0.22 ↓	全国	0.61 ↓

今週をもちまして、今シーズンのインフルエンザ情報の報告を終了いたします。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年4月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		4月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			2		10	12			12		25	37
				0.67		2.50	1.20						
	性器ヘルペスウイルス感染症					9	9		1	2		17	20
						2.25	0.90						
	尖圭コンジローマ									2		5	7
	淋菌感染症									1		3	4
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				2	6	8	2	5	5	4	17	33
					2.00	6.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1					1	1					1
		1.00					0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。